



設置、メンテナンス、アップグレード

- [ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換（1 ページ）](#)
- [SSD の取り外しと交換（4 ページ）](#)
- [デュアルファンモジュールの取り外しと交換（6 ページ）](#)
- [電源モジュールの取り外しと交換（8 ページ）](#)
- [DC 電源モジュールの接続（10 ページ）](#)
- [電源モジュールの電源コードの保護（13 ページ）](#)
- [FIPS 不透明シールドの取り付け（15 ページ）](#)

ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換

Secure Firewall 3100 のネットワークモジュール（NM-2）を取り外して交換できます。同一モジュールのホットスワップはサポートされていますが、ネットワークモジュールを別のタイプに交換する場合は、新しいネットワークモジュールが認識されるようにシステムを再起動する必要があります。

ネットワークモジュールを管理する手順については、オペレーティングシステムの設定ガイドを参照してください。



注意 サポートされているすべてのネットワークモジュールはすべての Secure Firewall 3100 モデルに取り付けられますが、40 Gb ネットワークモジュール（FPR-X-NM-4X40G）と 1/10/25 Gb ネットワークモジュール（FPR-X-NM-8X25G）は、3130 および 3140 に取り付けられている場合にのみ認識されます。3105、3110 および 3120 の場合、ソフトウェアはこれらのネットワークモジュールをサポートしません。

この手順では、ネットワークモジュールを搭載したことの空のスロットにネットワークモジュールを取り付ける方法と、取り付けられているネットワークモジュールを取り外して別のネットワークモジュールと交換する方法について説明します。

安全警告

次の警告に注意してください。



警告 ステートメント 1073 - ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

手順

ステップ 1 ネットワークモジュールを空のスロットに初めて取り付ける場合は、次の手順を実行します。

- a) 電源スイッチをオフの位置に動かしてシャーシの電源を切ります。
空のスロットにネットワークモジュールを初めて取り付ける手順については、オペレーティングシステムの設定ガイドを参照してください。
- b) ステップ 4～7 を実行して、新しいネットワークモジュールを取り付けます。
- c) 電源スイッチをオンの位置に動かしてシャーシの電源を入れます。

ステップ 2 既存のネットワークモジュールを取り外して交換するには、次のいずれかを実行します。

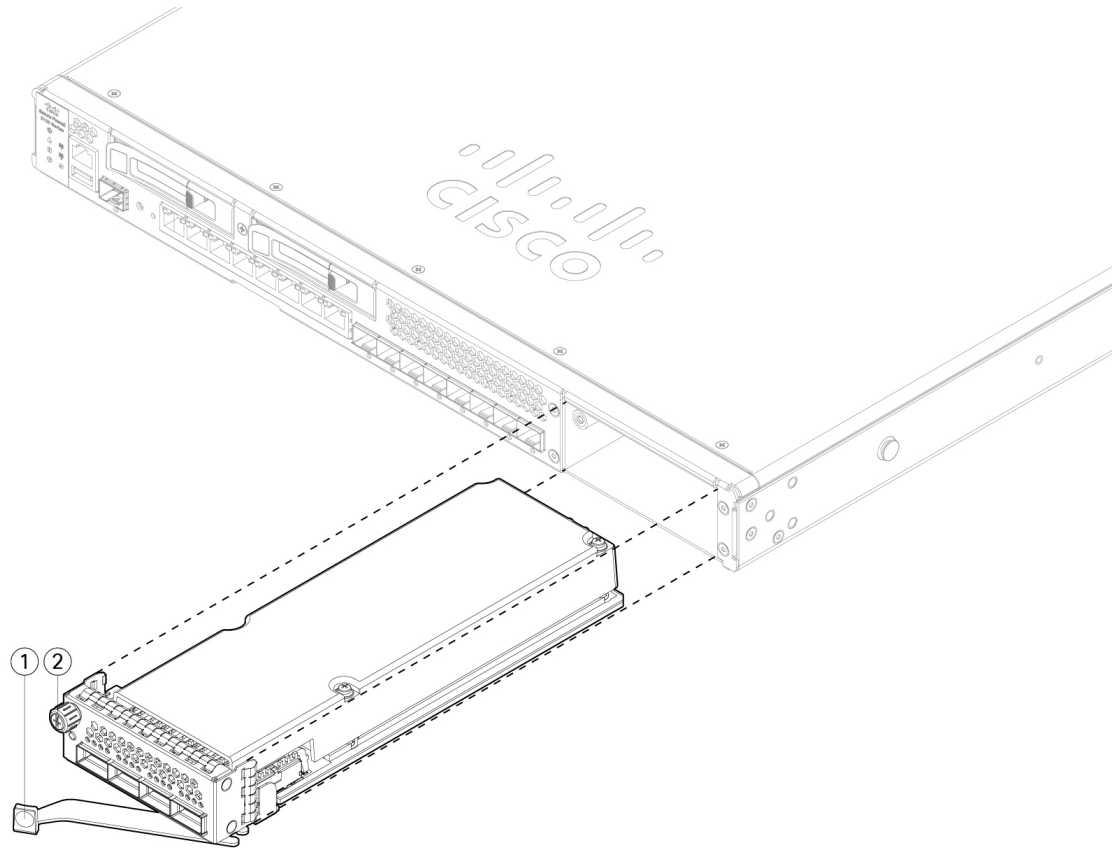
- a) 設定を保存します。
- b) 既存のネットワークモジュールを同じモデルのネットワークモジュールと交換するには、ネットワークスロットを無効にします。既存のネットワークモジュールを同じモデルに交換する手順については、オペレーティングシステムの設定ガイドを参照してください。
- c) 既存のネットワークモジュールを別のモデルのネットワークモジュールと交換するには、電源スイッチをオフの位置にしてシャーシの電源を切ります。既存のネットワークモジュールを新しいモデルに交換する手順については、オペレーティングシステムの設定ガイドを参照してください。
- d) ステップ 3 に進みます。

ステップ 3 ネットワークモジュールを取り外すには、ネットワークモジュールの左上にある非脱落型ネジを緩め、ハンドルイジェクタを押して、ハンドルを引き出します。これによりネットワークモジュールがスロットから機械的に排出されます。

注意

非脱落型ネジはハンドルに取り付けられていません。イジェクタハンドルを引き出す前に、非脱落型ネジが完全に緩んでいることを確認してください。そうしないと、非脱落型ネジとハンドルが互いに衝突するため、エジェクタハンドルが損傷する可能性があります。

図 1: ネットワークモジュールの取り外し



1	イジェクタハンドル	2	非脱落型ネジ
---	-----------	---	--------

スロットを空のままにしておく場合は、適切なエアフローを確保し、シャーシ内へのほこりの浸入を防ぐために、ブランク前面プレートを取り付けます。ブランクプレートを取り付けない場合は、別のネットワークモジュールを取り付けてください。

- ステップ 4** ネットワークモジュールを交換するには、シャーシの右側にあるネットワークモジュールスロットの前にネットワークモジュールを持ち、エジェクタハンドルを押して、ハンドルを引き出します。
- ステップ 5** ネットワークモジュールをスロットにスライドさせてしっかりと押し込み、ネットワークモジュールの前面にあるハンドルを閉じます。
- ステップ 6** ネットワークモジュールの左上にある非脱落型ネジを締めます。
- ステップ 7** 新しいネットワーク モジュールが認識されるように、シャーシの電源をオンにします。

関連トピック

[背面パネル](#)

SSD の取り外しと交換

シャーシは 2 つの NVMe SSD をサポートします。最初の SSD スロット (SSD-1) はストレージ用です。2 番目のスロット (SSD-2) は、オプションの SW RAID1 サポート専用です。



注意 RAID 構成のホットスワップはサポートされていません。SSD が 2 つ取り付けられている場合は、SSD-1 をホットスワップできます。SSD-2 をホットスワップするには、**raid remove-secure local-disk 1|2** コマンドを使用して、RAID 構成から SSD-2 を削除する必要があります。

安全警告

次の警告に注意してください。



警告 ステートメント 1073 - ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

手順

ステップ 1 設定を保存します。

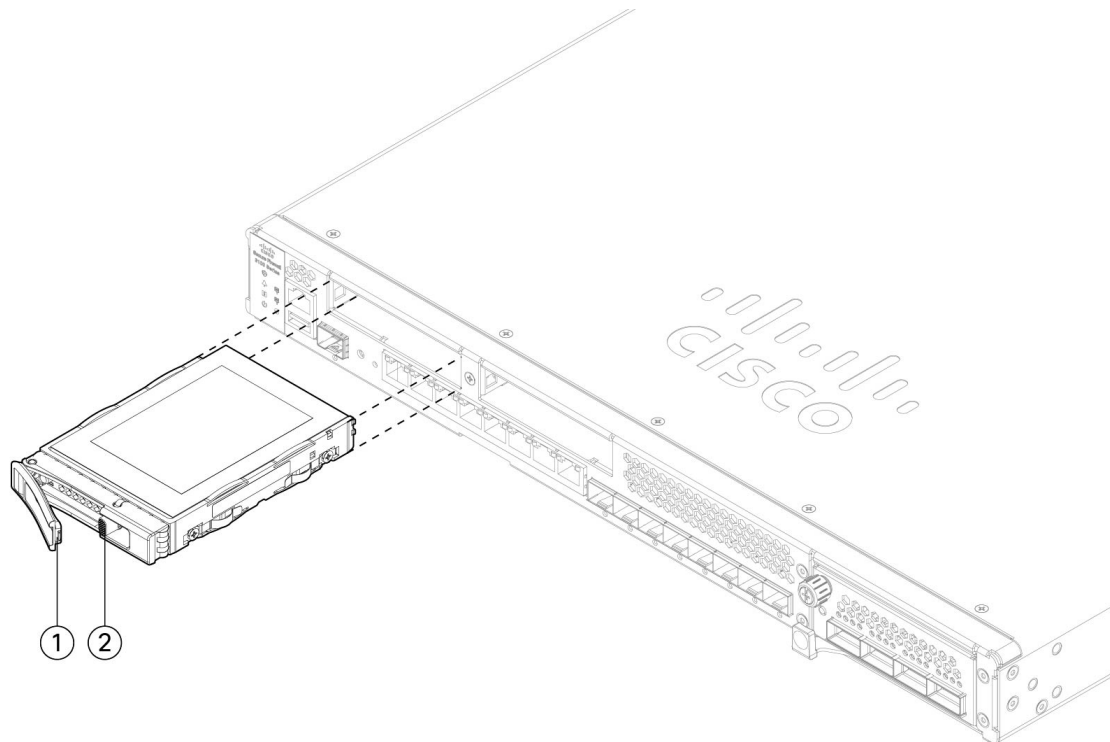
ステップ 2 SSD-1 を取り外すときに、シャーシに SSD が 1 つしか取り付けられていない場合は、電源スイッチを OFF の位置にしてシャーシの電源を切ります。

SSD が 2 つ取り付けられている場合は、スロット 1 の SSD のみを取り外すことができます。SSD が 1 つしかない場合、シャーシの電源が入っている間は取り外すことはできません。

ステップ 3 スロット 1 の SSD を取り外すには、シャーシの正面を向いて、SSD の前面にあるリリースタブをつまんでください。これにより、イジェクタハンドルがバネで開きます。

ステップ 4 イジェクタハンドルをつかんで、SSD をシャーシからゆっくりと引き出します。

図 2: SSD の取り外し



1	イジェクタハンドル	SSD リリースタブ
---	-----------	------------

ステップ 5 スロット 1 の SSD を交換するには、電源スイッチがオフの位置にあることを確認し（SSD-1 を交換する場合）、スロット 1 の前にエジェクタハンドルを伸ばした状態で SSD を保持し、装着され、エジェクタハンドルを閉じます。

ステップ 6 スロット 2 には RAID1 SSD を取り付けることができます。電源スイッチがオフの位置にあることを確認してから、前面プレートのハンドルを緩めて、スロット 2 のブランクの前面プレートを取り外します。

ステップ 7 イジェクタハンドルをスロット 2 の前に伸ばした状態で RAID1 SSD を保持し、固定されるまでゆっくりと押し込み、エジェクタハンドルを閉じます。

注意

2 つの SSD を切替えないでください。RAID1 SSD を、スロット 2 に取り付ける必要があります。

ステップ 8 SSD が動作していることを SSD LED で確認します。

ステップ 9 `raid add local-disk 1/2` コマンドを使用して、SSD-2 を RAID 構成に追加します。

関連トピック

[SSD](#)

[前面パネル LED](#)

[背面パネル](#)

[Cisco Secure Firewall Management Center 7.4 デバイス設定ガイド](#)

デュアルファンモジュールの取り外しと交換

シャーシの実行中に、デュアルファンモジュールを取り外して交換することができます。シャーシの背面には2つのデュアルファンモジュールがあります。空気の流れは前から後ろに移動します（I/O 側から非 I/O 側）。



注意 両方のデュアルファンモジュールを取り外すと、シャーシに空気の流れがなくなります。シャーシは、一方または両方のモジュールが取り外された後、30秒間動作します。シャーシの過熱を防ぐため、すべてのモジュールを30秒以内に再挿入する必要があります。30秒以上待つと、コンポーネントの損傷を防ぐために、シャーシの電源が自動的に切れることがあります。デュアルファンモジュールがない場合、シャーシの電源が入らず、正しく起動しません。

安全警告

次の警告を記録しておいてください。



警告 ステートメント 1073 - ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



警告 ステートメント 1093 - 鋭利な端部に触れないこと

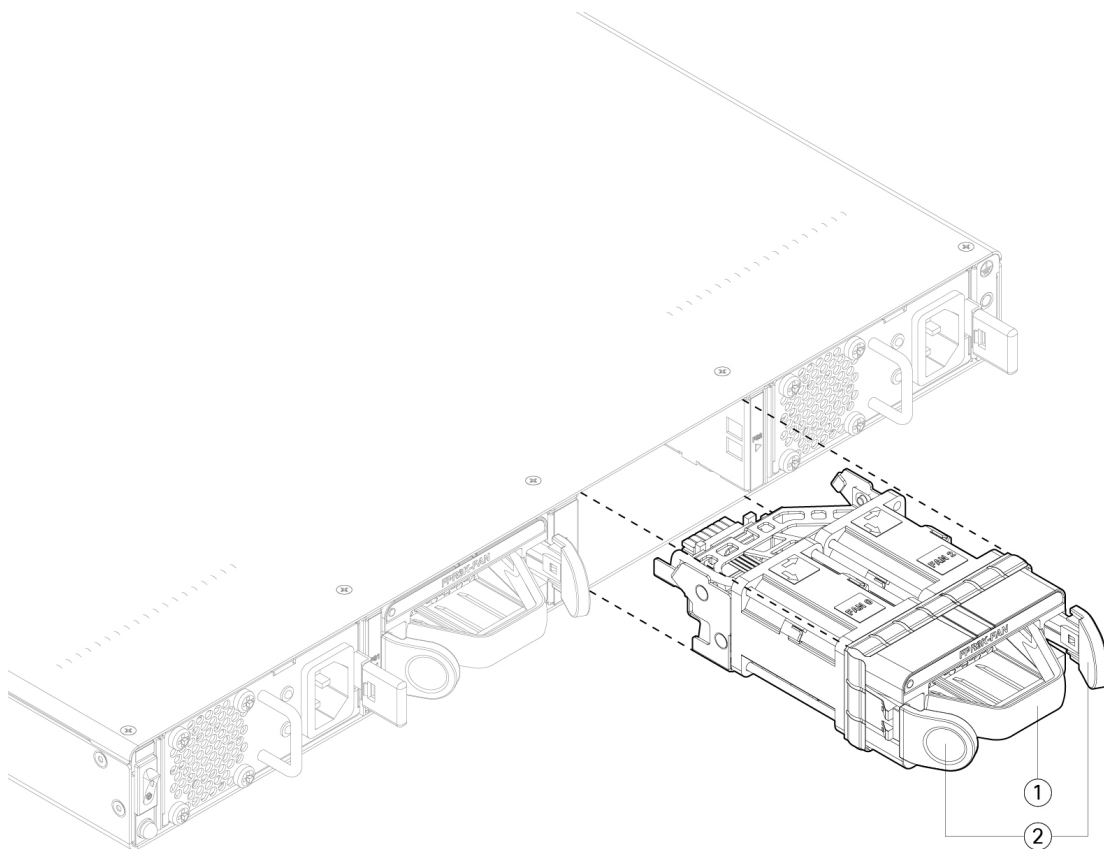
怪我のリスクがあります。交換可能なユニットの取り付けまたは取り外しの際は、鋭利な端部に触れないようにしてください。



手順

- ステップ 1** デュアルファンモジュールをすぐに挿入できるように、シャーシの近くに用意して、30 秒以内に再度取り付けられるようにします。
- ステップ 2** ファンモジュールを取り外すには、シャーシの背面を向き、ファンモジュールの側面にあるスクイーズタブを押して、シャーシからファンモジュールを緩めます。
- ステップ 3** ハンドルをつかみ、ファンモジュールをシャーシから引き出します。

図 3: デュアルファンモジュールの取り外し



1	ハンドル	2	スクイーズタブ
---	------	---	---------

- ステップ 4** ファンモジュールを交換するには、ファンスロットの前にファンモジュールを保持します。
- ステップ 5** ファンモジュールの側面にあるスクイーズタブを押して、シャーシに押し込みます。
- ステップ 6** ハンドルをつかみ、ファンモジュールが正しく装着されるまで押し込みます。
システムの電源がオンになったら、ファンの動作音を確認します。ただちに、ファンの動作音が聞こえます。動作音が聞こえない場合には、ファンモジュールがシャーシ内に完全に装着され、前面プレートがシャーシの外面と揃っていることを確認してください。

ステップ 1 ファン モジュールの LED をチェックして、ファンが動作していることを確認します。

関連トピック

[前面パネル LED](#)

電源モジュールの取り外しと交換

電源モジュールは、ホットスワップ可能です。システムの稼働中に、電源モジュールを取り外して交換することができます。

安全警告

次の警告を記録しておいてください。



警告 ステートメント 1003 - DC 電源の切断

感電や怪我のリスクを軽減するために、コンポーネントの取り外しや交換、またはアップグレードを実行する前に、DC 電源を切断してください。



警告 ステートメント 1015 - バッテリーの取り扱い

火災、爆発、または可燃性液体やガス漏れのリスクを軽減するために。

- 交換用バッテリーは元のバッテリーと同じものか、製造元が推奨する同等のタイプのものを使用してください。
- 分解、粉砕、破壊、鋭利な道具を使った取り外し、外部接点のショート、火中への廃棄は行わないでください。
- バッテリーがゆがんだり、膨らんだりしているときは使用しないでください。
- 60 °C を超える温度でバッテリーを保管または使用しないでください。
- 69.7 kPa よりも低い低気圧環境でバッテリーを保管または使用しないでください。



警告 ステートメント 1022 - デバイスの切断

感電または火災のリスクを軽減するため、容易にアクセス可能な切断装置を固定配線に組み込む必要があります。



警告 ステートメント 1046 - 装置の設置または交換

感電のリスクを軽減するため、装置を設置または交換するときには、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。

装置にモジュールがある場合は、提供されたネジで固定してください



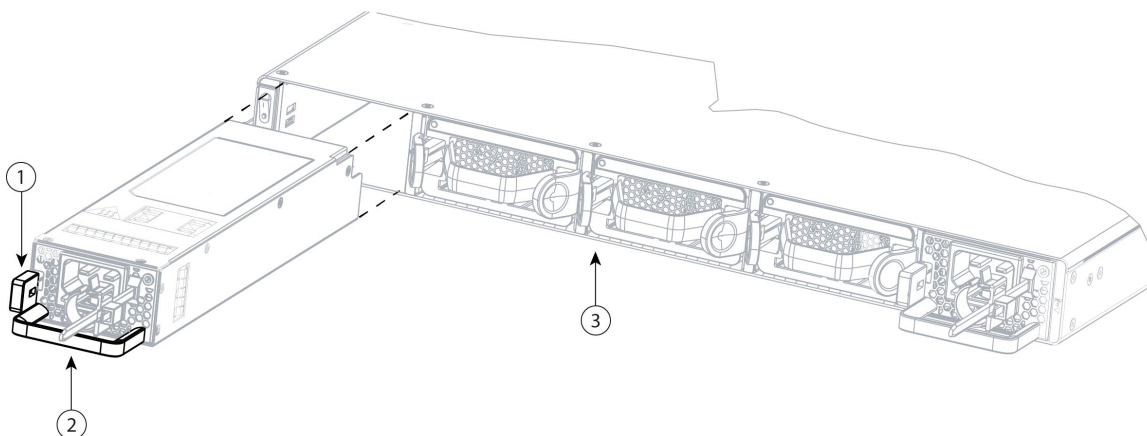
警告 ステートメント 1073 - ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

手順

- ステップ 1** 電源モジュールを取り外す前に電源ケーブルを抜きます。最初にケーブルを取り外さないと、電源モジュールのリリースタブを外すことはできません。
- ステップ 2** 電源モジュールを取り外すには、シャーシの背面に向かってハンドルを握ります。
- ステップ 3** リリースタブを左に押して、電源を外します。リリースタブは電源装置の右側にあります。
- ステップ 4** シャーシから引き出すときは、もう一方の手を電源モジュールの底面に添えて支えてください。

図 4: 電源モジュールの取り外し



1	リリース タブ	2	ハンドル
---	---------	---	------

スロットを空のままにしておく場合は、適切なエアフローを確保し、シャーシ内へのほこりの浸入を防ぐために、ブランク前面プレートを取り付けます。ブランク プレートを取り付けない場合は、別の電源モジュールを取り付けてください。

- ステップ 5** 電源モジュールを交換するには、電源モジュールを両手で持ち、電源モジュール ベイに差し込みます。
- ステップ 6** リリースタブがかみ合い、電源装置が装着されるまで、電源装置モジュールを静かに押し込みます。

ステップ7 電源ケーブルを接続します。

ステップ8 電源の LED をチェックして電源が動作中であることを確認します。

関連トピック

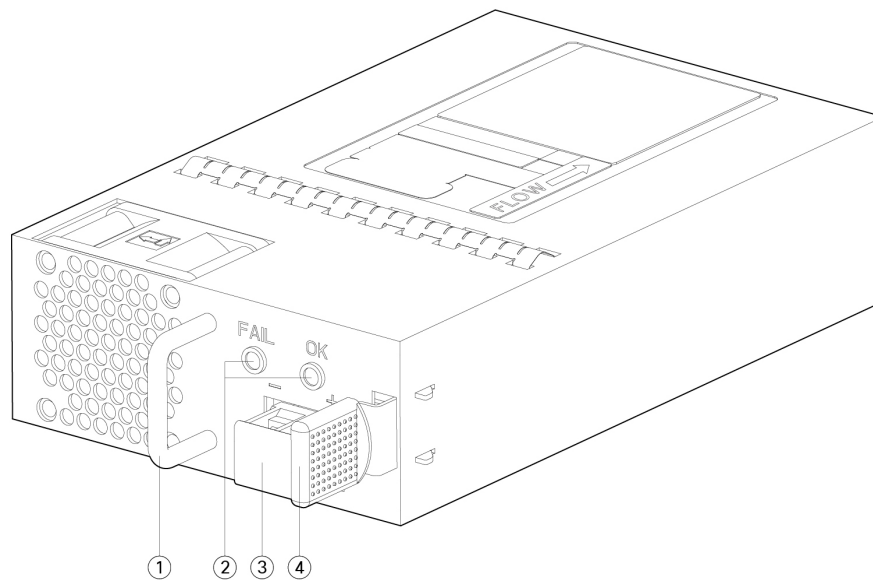
[電源モジュール](#)

DC 電源モジュールの接続

入力コネクタとプラグは、フィールド配線対応 UL 486 で認識された UL である必要があります。接続の極性は左から右に負 (-)、正 (+)、アースです。

電源装置の取り付けおよび取り外し時にはハンドルを使用します。モジュールの長さのため、モジュールは片手で支える必要があります。

図 5: DC 電源モジュール



1	ハンドル	2	FAIL LED および OK LED
3	DC 電源コネクタ	4	イジェクタ ラッチ

安全警告

次の警告に注意してください。



警告

ステートメント 1073 - ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

始める前に

- DC 入力電源モジュールの導線のカラー コーディングは、設置場所の DC 電源のカラー コーディングによって異なります。DC 入力電源モジュール用に選択した導線のカラー コーディングが、DC 電源で使用される導線のカラー コーディングに一致していること、および電源が電源モジュールのマイナス (-) 端子とプラス (+) 端子に接続されていることを確認してください。
- DC 電源装置の取り付けを開始する前に、シャーシアースがシャーシに接続されていることを確認します。

手順

ステップ 1 取り付ける電源モジュールの DC 回路への電源がオフになっていることを確認します。

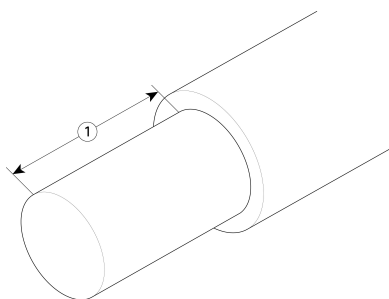
ステップ 2 電源モジュールを片手で支えながら、電源モジュールを電源装置ベイに挿入し、静かに押し込みます。ハンドルの位置については、上の図を参照してください。

ステップ 3 DC 入力電源に接続されている 2 本の各導線の被覆を剥すために、ワイヤストリッパを使用します。約 0.39 インチ (10 mm) + 0.02 インチ (0.5 mm) に導線の被覆を剥がします。14 AWG 絶縁線を使用することを推奨します。

(注)

端子ブロックから導線が露出されたままになる可能性があるので、推奨されている長さ以上に被覆を剥がさないでください。

図 6: 被覆を剥がした状態の DC 入力電源ワイヤ



1	約 0.39 インチ (10 mm) + 0.02 インチ (0.5 mm) に導線の被覆を剥がします。	—
---	--	---

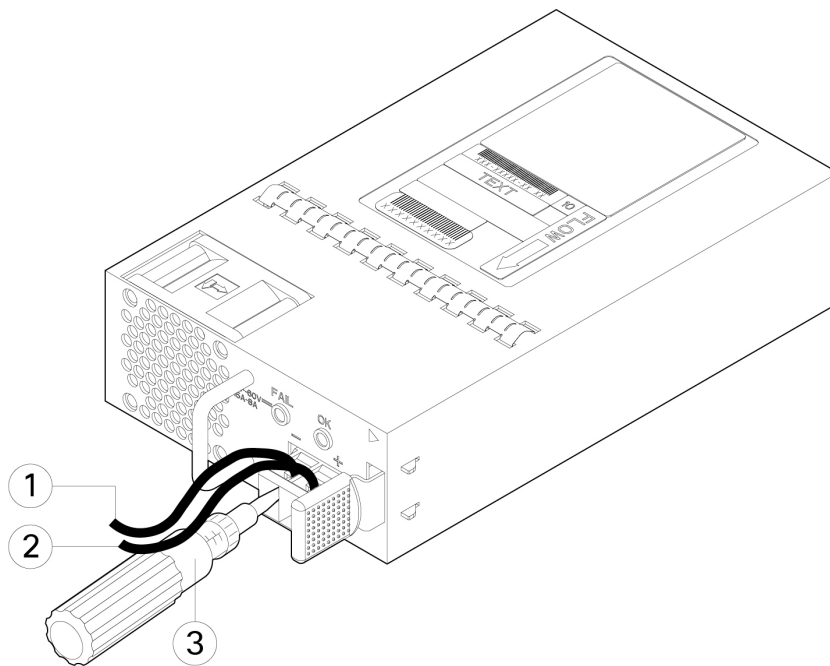
ステップ 4 露出した導線を端子ブロックに挿入します。プラスチックカバーの外側に導線が伸びていないことを確認します。端子ブロックから伸びる導線部分は、絶縁体で覆われている必要があります。

ステップ 5 ドライバを使用して、端子ブロックの非脱落型ネジを締めます。

注意

端子ブロックの非脱落型ネジをきつく締めすぎないようにしてください。ぴったりと接続しているが、導線が押しつぶされていないことを確認します。各導線を軽く引いて、導線が動かないことを確認します。

図 7: 端子ブロック非脱落型ネジの締め付け



1	マイナス (-) 導線	2	プラス (+) 導線
3	ドライバ		—

ステップ 6 必要に応じて、残りの DC 入力電源の導線についてこの手順を繰り返します。

ステップ 7 タイラップを使用してラックに導線を固定し、導線が端子ブロックから引っ張られないようにします。

ステップ 8 回線の DC 切断スイッチを ON に設定します。複数の電源装置が搭載されているシステムでは、各電源装置をそれぞれ別の DC 電源に接続してください。電源障害が発生した場合に、2 番目の電源がまだ使用可能な場合は、システム動作を維持できます。

ステップ 9 シャーシの前面の電源 LED で、電源の動作状況を確認します。

関連トピック

[シャーシの接地](#)

[前面パネル LED](#)

電源モジュールの電源コードの保護

電源モジュールを誤って取り外すことを防ぎ、システムパフォーマンスの中断を防止するには、Secure Firewall 3100 シリーズの出荷時に付属されているアクセサリキットのタイラップとクランプを使用します。

安全上の警告

次の警告に注意してください。



警告

ステートメント 1073 - ユーザが保守可能な部品なし

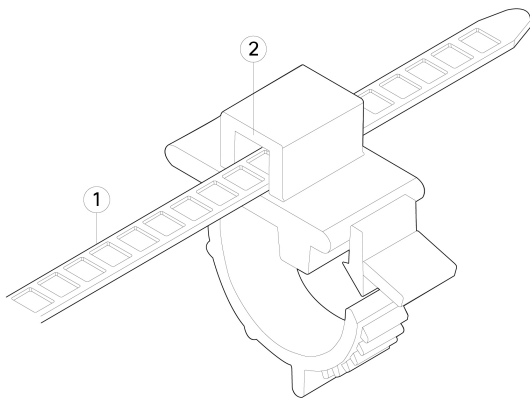
内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

手順

ステップ 1 ループ側を下にしてクランプを保持し、クランプの上のボックス型のチャンネルを通してタイラップをスライドさせて、クランプをタイラップに取り付けます（次の図を参照）。

タイラップの片側に均等に間隔をあけたうねができ、もう一方は滑らかになります。うねのある側が上向きになり、チャンネルのオープン側を通してスライドすることを確認します。タイがスライドするときにクリック音が発生します。これは1方向にのみ動きます。タイラップをクランプから取り外すには、ボックス型チャンネルのクローズ側にあるレバーを押して、タイラップをスライドさせて出します。

図 8: クランプのボックスチャンネルを通るタイラップ



1	タイラップ	2	ボックスチャンネル
---	-------	---	-----------

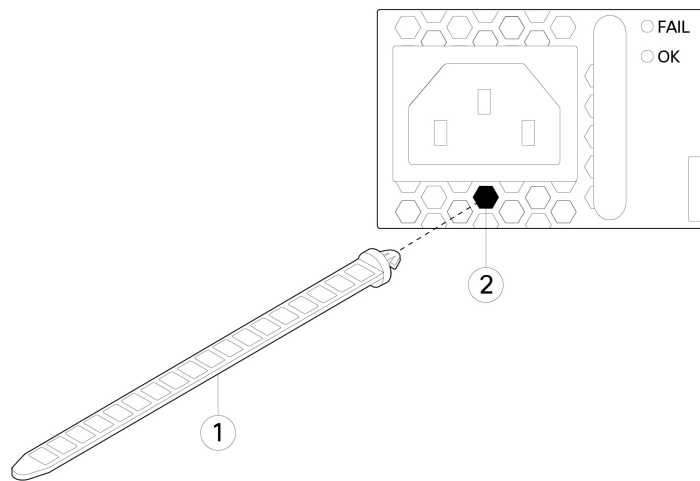
ステップ 2 電源モジュールにクランプを取り付けます。

- a) 電源コネクタ本体のすぐ下のプラグの中央にある電源モジュールの六角形の通気孔に配置します（次の図を参照）。
- b) 六角形の穴にタイラップのスナップ部分を差込みます。
- c) クランプ側を上にして、完全にはまるまでタイラップを押し込みます。

注意

タイラップを損傷することなく一度取り付けすると、電源モジュールからタイラップを取り外すことができないため、位置が正しいことを確認します。

図 9: タイラップの接続

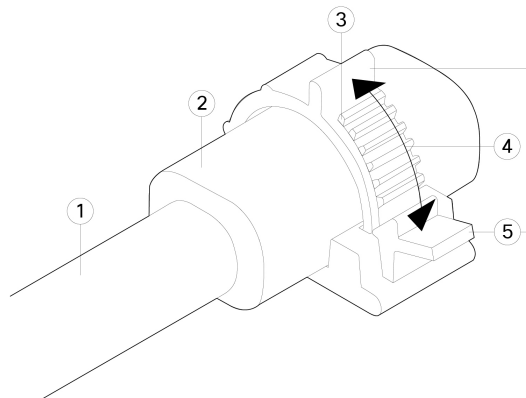


1	タイラップ	2	六角形の穴
---	-------	---	-------

ステップ 3 クランプの保護：

- a) 電源コードを電源モジュールに差し込み、クランプを電源コードのオーバーモールド部分に巻き付けます。
- b) リング状の歯がクランプの嵌合部とかみ合うようにクランプタブを一緒に締め付けます。
- c) クランプが成型部にぴったりはまっていることを確認します。
- d) クランプが成型部の前面に対してしっかり固定され、軽く引っぱっても電源コードが抜けないように、タイラップ上のクランプの位置を調整します。

図 10: 電源ケーブルの成型部のクランプ



1	電源コード	2	電源コードの成型部 クランプリリースタブ
3	締め付けクランプのリング状の歯	4	クランプタイを締め付ける方向
5	クランプリリースタブ		—

ステップ 4 電源コードを取り外す必要がある場合は、クランプのリリースタブを押してリング状のクランプの歯に力を加え、クランプを外して開かせます。これで電源コードからクランプを取り外せます。

FIPS 不透明シールドの取り付け



注意 この手順は暗号担当役員（CO）のみが実行する必要があります。



(注) FIPS 不透明シールドがシャーシのシリアル番号を覆っているため、CO はシリアル番号をメモして安全な場所に保管する必要があります。このシリアル番号は、Cisco TAC に連絡する際に必要になります。

FIPS 不透明シールドを取り付けるには次が必要です。

- No.1 プラス ドライバ
- FIPS 不透明シールドキット（FPR3K- FIPS-KIT）に含まれている次のアイテム：
 - 1 つの FIPS 不透明シールド

- FIPS 不透明シールドをケーブル管理ブラケットに取り付けるために使用する 6 本の 8-32 X 0.375 インチプラスネジ
- 改ざん防止用ラベル (TEL) 9 枚

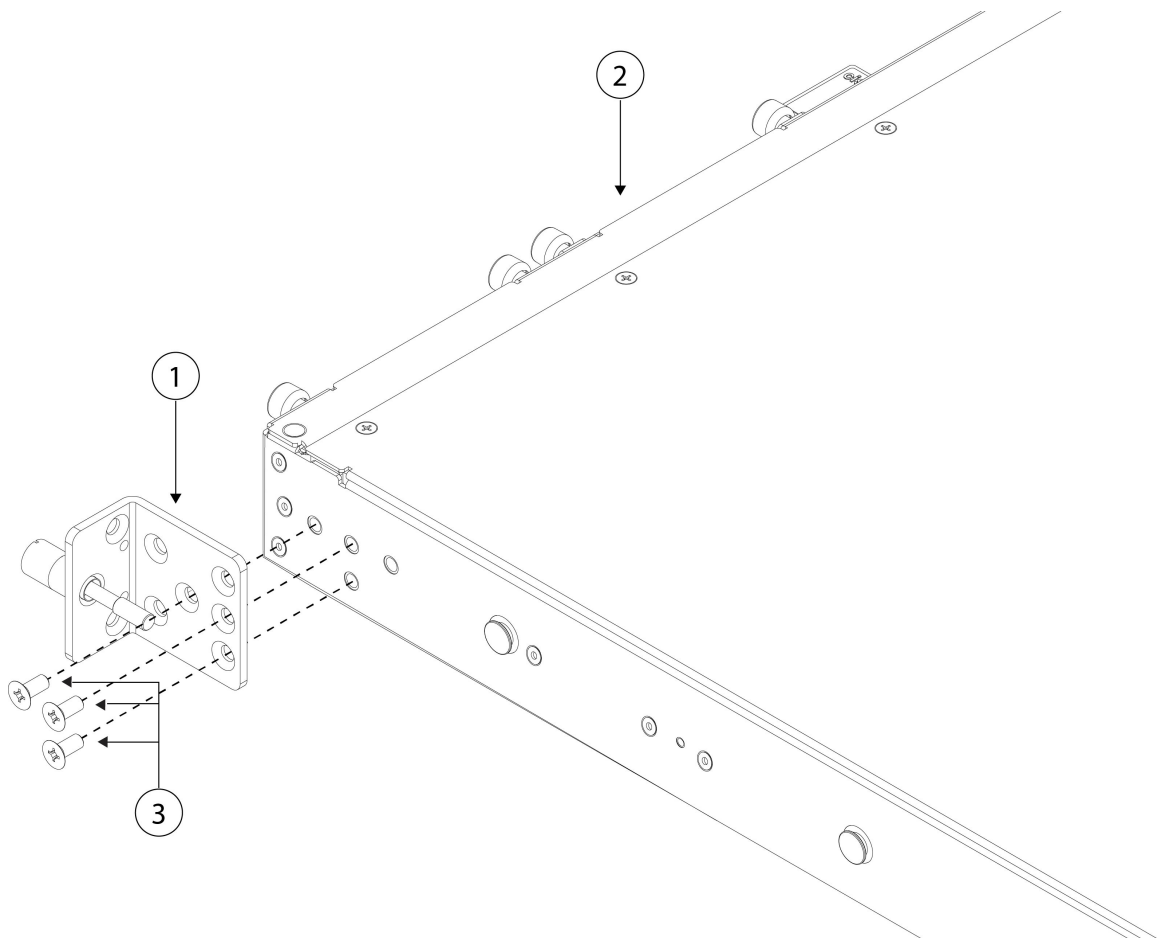


(注) TEL は、粘着性の裏材を使用した特殊な薄いゲージのビニールでできています。CO が TEL をシャーシに取り付けた後は、シャーシを開こうとすると TEL またはシャーシカバーが破損します。TEL には繰り返しのないシリアル番号が付加されているため、CO は破損を調べ、与えられたシリアル番号と比較して、シャーシが改ざんされていないかどうかを確認できます。TEL の角が丸まっていたり、破れていたたり、切れている場合は、改ざんされていることを示します。ラベルがはがされた場合は、「FIPS」または「OPEN」と表示されることがあります。Cisco では、30 日ごとに TEL の改ざんを検査することを推奨しています。

手順

- ステップ 1** シリアル番号をメモし、安全な場所に保管します。
- ステップ 2** 8-32 X 0.302- インチプラスネジ 6 本を使用して (各側面に 3 本)、シャーシのそれぞれの側面にスライドレール固定ブラケットを取り付けます。シャーシの前面パネルの右側を示す下の図を参照してください。

図 11: シャーシ側面へのスライドレール固定ブラケットの取り付け



1	スライドレール固定ブラケット	2	シャーシの前面パネル
3	8-32 X 0.302 インチプラスネジ (各側面に3本)		—

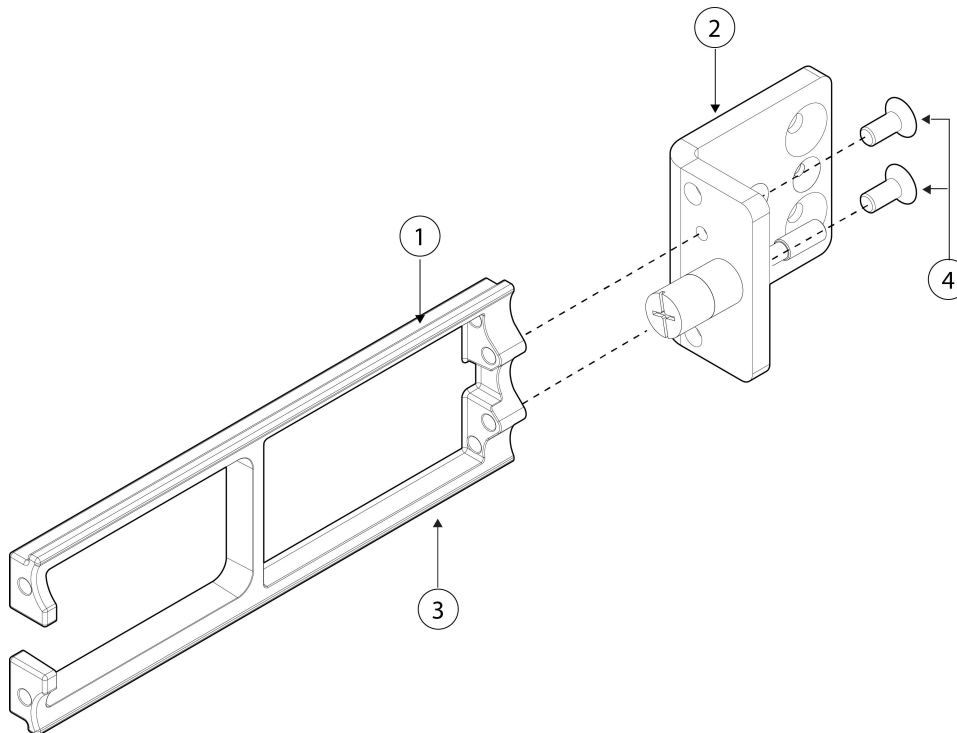
ステップ 3 スライドレール固定ブラケットへのケーブル管理ブラケットの取り付け：

- ケーブル管理ネジをスライドレール固定ブラケットに取り付けます。次の図は、シャーシの前面パネルの右側の向きを示しています。

注意

ケーブル管理ブラケットの下側が設置時に内側に来るようにしてください。これにより、FIPS 不透明シールドをより簡単に所定の位置にスライドすることができます。

図 12: スライドレール固定ブラケットへのケーブル管理ブラケットの取り付け



1	ケーブル管理ブラケットのステップ溝	2	ラックマウント ブラケット
3	ケーブル管理ブラケット	4	8-32 X 0.375 インチプラスネジ (ブラケットごとに 2 本)

- b) スライドレール固定ブラケットの内側に 8-32 X 0.375 インチプラスネジ 2 本を取り付け、ケーブル管理ブラケットをスライドレール固定ブラケットに固定します。

ステップ 4 ケーブルをポートに接続します。ケーブル管理ブラケットに通すための十分なたるみがケーブルにあることを確認します。

(注)

製品の初期設置の後に FIPS 不透明シールドを取り付けている場合は、ケーブルがすでに接続されています。接続されているケーブルに、ケーブル管理ブラケットに通すための十分なたるみがない場合は、アプライアンスの電源を切り、ケーブルを取り外してケーブル取り付けブラケットに通してから、ケーブルを接続しなおして、次の手順 5 に進んでください。

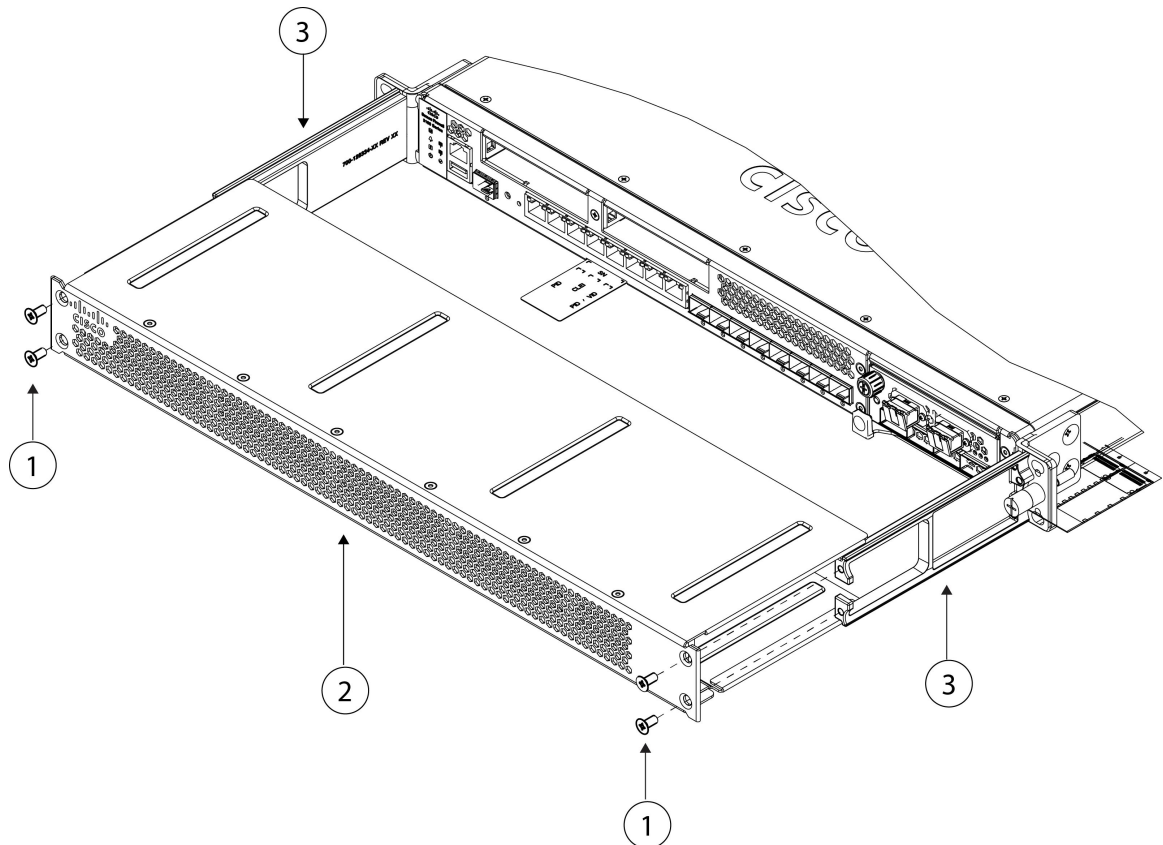
(注)

電源スイッチをオンからオフに切り替えると、システムの電源が切れるまで数秒かかります。電源 LED がオフになるまで電源ケーブルを抜かないでください。電源スイッチをオフに動かすか電源コードを取り外してシャーシへの電力供給を遮断した後は、少なくとも 10 秒間待機してから電源を再投入してください。

ステップ 5 ケーブルをケーブル管理ブラケットの開口部に通して配線します（下図を参照）。

- ステップ 6** FIPS 不透明シールドをケーブル管理ブラケットの方向にスライドさせ、FIPS 不透明シールドキットに付属の 4 本の 8-32 X 0.375 インチプラスネジを使用してケーブル管理ブラケットに取り付けます。

図 13: ケーブルの配線とケーブル管理ブラケットへの FIPS 不透明シールドの取り付け



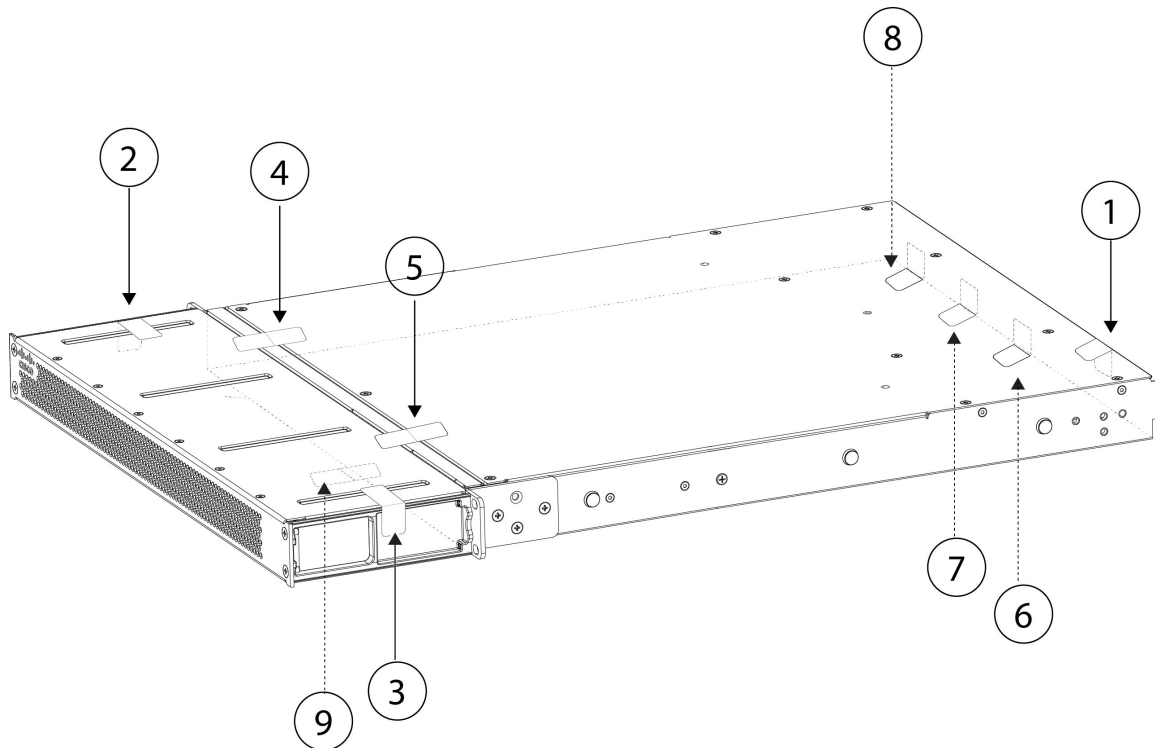
1	8-32 X 0.375 インチプラスネジ (各側面に 2 本)	2	FIPS 不透明シールド
3	ケーブル管理ブラケットを介したケーブルの配線		—

- ステップ 7** TEL を貼り付ける前に、アルコールベースのクリーニングパッドを使用して、シャーシのグリスや汚れ、油などを掃除します。
- ステップ 8** 9 つの TEL を貼り付けます。正しい配置については、次の図を参照してください。TEL を最低 12 時間硬化させます。

注意

TEL の配置に狂いがある場合、シャーシが FIPS モードではないことを示します。

図 14: シャーシ上の TEL の配置



1	TEL 1 はシャーシの背面と上部	2	TEL 2 はシャーシの前面と上部
3	TEL 3 はシャーシの右側前面と上部	4	TEL 4 は FIPS 不透明シールドとシャーシを横切った上面 (シャーシの向かって左側)
5	TEL 5 は FIPS 不透明シールドとシャーシを横切った上面 (シャーシの向かって右側)	6	TEL 6 はシャーシの左側の下部
7	TEL 7 はシャーシ中央のシャーシの下部	8	シャーシ下部の TEL 8 (シャーシの向かって右側)
9	TEL 9 は FIPS 不透明シールドの上部 (シャーシの右側)		—

ステップ 9 電源コードをシャーシに接続し、電源コンセントに接続します。

ステップ 10 リア パネルの電源スイッチを押します。

ステップ 11 前面パネルの電源 LED を確認します。緑の点灯は、シャーシの電源がオンであることを示します。

ステップ 12 シャーシを FIPS モードにします。

シャーシを FIPS モードにする方法については、次の手順を参照してください。

- [プラットフォームモードでの ASA](#)
- [アプライアンスモードでの ASA](#)

- [FMC に管理される FTD](#)

次のタスク

設定情報の詳細については、ご使用のオペレーティングシステムの『[Cisco Secure Firewall 3100 Getting Started Guide](#)』を参照してください。

関連トピック

[シリアル番号とデジタル ドキュメント ポータル QR コード](#)
[前面パネル LED](#)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。